



地震に備える

災害はいつやってくるかわかりません。突然の災害に慌てないために一番大切なのは、一人ひとりの日ごろからの心がけです。また、いざというときのご近所同士の助け合いや、行政の支援が加わることで被害を最小限に食い止めることができます。9月1日の「防災の日」を前に、地震を想定し、今からできる準備について考えてみませんか。

問 防災課 ☎724・3254

～今、準備できることを考えてみませんか

地震発生

その時、私は…

阪神・淡路大震災を体験した鈴木さん(中町在住)

- A1.**当時14歳で、神戸市東灘区で被災しました。午前5時46分に発生し、発生と同時に停電したため真っ暗で何も見えませんでした。明かりは火災による炎だけという状況でした。
- A2.**眼鏡を枕元に置いていなかったため、発災して部屋がめちゃくちゃになってしまったときに暗闇の中で右往左往しました。部屋を抜け出した後も、リビングの食器棚が倒れ、割れた食器が散乱し足元が危険な中、椅子とテーブルの上を歩いて脱出しました。明るくなって部屋に戻り、気付いたのですが、**④**大きなタンスと天井の間に挟まっていたクーラーボックスが家具の転倒を防止して私の命を救ってくれたのでした。また、単身赴任の父に連絡をとるのに、連絡手段は公衆電話しかなく、**②**避難先の小学校で合流するまで、気が気ではありませんでした。避難先を玄関の扉に貼っておく等、家族で話し合っておくべきだったと思いました。
- A3.**当時の関西は地震がほとんどなく、地域全体の人たちが地震は東海地方や関東地方のもの(自分たちは関係ない)と思っていたように思います。小学校での備えにも差があって、親の転勤で横浜市に住んでいた頃は小学校に防災頭巾を持っていくことが必須でしたが、神戸市の小学校ではそのようなルールはありませんでした。
- A4.**本震だけが注目されますが、本震並みの余震が直後から発生し、余震のたびに建物が倒壊する音が聞こえるという恐怖がありました。また避難所では、簡易トイレが設置されましたが当然水洗ではなく、排泄されたし尿が堆積するため、衛生環境は良い状況ではありませんでした。行列になり我慢ができなくなる人や体調を崩す人もいました。自宅に戻ってから一番大変だったのは、生活水の確保でした。給水車に水をもらいに行き、水洗トイレに使っていました。ガスが復旧するまでは、カセットコンロは必需品でした。洗濯は洗濯機を使わず、下着のみ手洗い、他の衣服は洗濯せずに天日干しして極力長く着て、無駄に水を使わないよう我慢しました。
- A5.**この体験以後、**③**自宅では常にポリタンクで生活水を備蓄し、定期的に入れ替えたり、お風呂に残り湯や水をためています。避難場所の確認や給水拠点の確認もするようになりました。

グラフ
④
グラフ
②

新潟県中越地震を体験した清水さんご夫妻(本町田在住)

- A1.**両親と1歳の子どもと私達夫婦で、夕食中に地震が起こりました。
- A2.**揺れが大きく自分や家族がけがをするのでは、と慌てました。
- A3.**中越地震に遭うまで日ごろの備えは意識していませんでした。実際、**①**乾電池の予備が見当たらずに困り、携帯電話用の充電器もありませんでした。
- A4.**食卓用テーブルが偶然にも大きくて頑丈だったのでその下に潜り、家族がけがをしなくて済みました。揺れの後にまずとった行動は、水の確保でした。鍋や浴槽に水をためましたが、ほどなくして水道から水が出なくなりました。水を節約するため、レトルト食品の温めなどは風呂の残り湯や、たまたまためていた雨水を使いました。それから、家の周りが田んぼだったので、自宅の田んぼで用を足しました。子どものおむつ、大人のおむつ、生理用品などは、日ごろから準備しておくと思いしました。それから、田舎だからだと思いますが、近所の一人暮らしの方の家に様子を見に行くなど、地域での連携が自然にできていました。あと、家に石油ストーブがあり、電気・ガスが止まっても煮炊きに困らなかったことや、10月で晴れていたため、暑さ寒さの心配がなかったことは幸いでした。当初、**⑤**携帯電話が繋がらず、親戚の安否確認は災害時伝言ダイヤル171を使って行いました。翌日、ガソリンや食料を調達するため、ガソリンスタンドやコンビニに行ったのですが、いずれも長蛇の列でした。道路は至る所でマンホール部分が隆起していて驚きました。
- A5.**子どもの背後にあったガラス棚が倒れそうになり、私と父で揺れの中で押さえて難を逃れたのですが、**④**家具転倒防止対策をしていれば良かったと思いました。またこの体験の後、自宅はもちろんのこと職場でも、帰宅できない場合を想定し、常に**⑤**1日分の水や軽食、着替え、スマートフォンの充電器などを用意し、仕事中に被災しても慌てないように準備しています。

グラフ
①
グラフ
⑤
グラフ
④
グラフ
③

あなたは、災害などの非常時に対して備えていることがありますか？

